

ときめき インタビュー



…プロフィール…

佐藤展子さん(左) / 1978年2月12日生まれ。越谷市出身で南越谷小を卒業後、都内の中学へ通う。東京音楽大学付属高校を経て、同大学ピアノ演奏家コースを卒業。ロンドンに短期留学後、2001年ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ受賞。2002年、同大学院修士課程修了。
佐藤圭奈さん(右) / 1983年11月6日生まれ。越谷市出身で南越谷小、富士中を卒業後、東京音楽大学付属高校を経て、同大学ピアノ演奏家コースを卒業。その後、ハノーヴァー音楽演劇大学に留学、現在同大学ソリスト課程に在籍。2008年ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ受賞。

ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリを姉妹W受賞

2001年、世界最大級の参加人数を誇るピアノコンクール、ピティナ・ピアノコンペティションで、越谷市出身の佐藤展子さんが特級グランプリを受賞、さらに2008年、妹の圭奈さんも同じく特級グランプリを受賞しました。姉妹そろっての受賞は、協会をはじめって以来の快挙だそうです。

ピティナ・ピアノ・コンペティションは、全日本ピアノ指導者協会が1977年にスタートさせたコンクールで、現在、参加人数は4万人、プロピアニストの登竜門として知られています。

母親はピアノの指導者をしており、父親は楽器販売に携わっているという音楽一家。「リビングにいつもよりレッスン室にいる時間が長かった」というほどの熱心さで、家の中はいつも音楽であふれていました。

姉の展子さんは、現在、市内に在住、妹の圭奈さんはドイツに留学中で住む場所こそ違いますが、今もお互いピアノと向かい合う生

活を続けています。

同じ道を歩む「二人」であることの強さ

そんな二人がピアノを始めたのは2歳を過ぎたころから。今でこそ「全然弾かない日もある」と自然体でピアノと向き合っているようですが、20歳のころには二人とも、それぞれの理由で思い悩み、いつそやめてしまおうかと思つたこともあったそうです。そんなスランプに陥つた姉の姿を、まだ幼かった圭奈さんは理由も分からずただ漠然と眺めていたと言います。そしてその数年後、今度は圭奈さんが、展子さんと同じような時期に、同じような状態に陥つてしまします。圭奈さんはその時はじめて、当時の展子さんの悩みを理解できたような気がしました。

「直接相談はしないまでも、あの時の姉の姿を思い浮かべること、あきらめずにピアノと向き合うことができ、その後、出会いにも恵まれ、難しい時を乗り越えられました」と、圭奈さん。

姉妹という関係以前に、同じ苦しみと喜びを共有した同士として、またお互いに尊敬し合える演奏家

として接している二人の姿が印象的でした。

それぞれの活動と今後の「二人」だからできること

展子さんは現在、二人の母校の東京音楽大学で講師をする傍ら、自宅でピアノ指導者として子どもたちの指導にあたっています。そして、圭奈さんは、ドイツのハノーヴァー音楽演劇大学に在学中、留学して今年で3年目。2月にフランス、イタリアで演奏を終えたばかり。

「妹はスケールの大きいドラマチックな曲が得意で、私はそれとは反対の、繊細で叙情的な曲が得意。ホント、対照的ですよね」と展子さんは笑いながら、演奏家としてのキャリアクターの違いを話してくれました。

お二人に話を伺った日は、二人が市内の増林小学校で「学校クラスコンサート」を終えた直後でした。「学校クラスコンサート」は、学校の音楽室へプロの音楽家を招いてクラスの子どもたちを前に行うコンサート。全日本ピアノ指導者協会によ

ピアノを通じたたくさんの方のすばらしい出会いが私たちのエネルギーの源です！

って全国各地で開催されています。いつもの音楽室がライブハウスに早変わりする「学校クラスコンサート」は、プロの音楽家の表情や息づかいを肌で感じる事ができ、聞く側の子どもたちと同様に、演奏する側も刺激になるようで、今後機会があれば参加していきたいと楽しそうに話してくれました。

またソロの活動は、展子さんは、3月にかつてお母様も演奏をされたというサンシティーホールで、市制施行50周年記念ファイナルイ

ベントのコンサートを終えたばかり。一方の圭奈さんは7月4日に都内のティアラこうとうで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団との演奏会でソリストを務める予定となっています。ほかに、これからは圭奈さんの帰国を待って、デユオや連弾など二人だからこそできるコンサートも考えていきたいとのことでした。

展子さんと圭奈さん、音楽を愛し続ける二人の活動を今後とも見守っていききたいものです。



ピアニストのりこ 展子さん(左) 圭奈さん(右)



ピアニストの登竜門として知られる世界最大級のピアノコンクール「ピティナ・ピアノコンペティション」の特級グランプリを姉妹で受賞した佐藤展子さんと圭奈さん。

二人から子どもたちへ「目標に向かってあきらめないこと、目標が見つからなくても好きなことは精一杯がんばってほしい」というメッセージをいただきました。